

# 身近なこと 興味あること 調べてみました

## あきらめない姿勢

陸上競技のハインリッヒ・ポポフ選手について調べました。何度かお会いしたことがあり、パラリンピックでたくさんのメダルを取っていてびっくりしたからです。カザフスタンに生まれて7歳でドイツに移住したポポフ選手は、8歳のとき、左ふくらはぎに腫瘍が見つかり膝関節から切断しています。13歳から陸上競技を始め、2004年のアテネ大会でパラリンピックに初出場し3個の銅メダル。08年北京大会は100㍍で銀メダル、12年ロンドン大会は金メダル。16年リオ大会では走り幅跳びで金メダルに輝いています。18年に引退。義肢装具士でもあります。今の私よりも小さい時に、左足を失ったのにあきらめずに活躍できたことが一番すごいと思いました。私もポポフ選手のように、何事もあきらめずに取り組んでいきたいです。

【小6 / 田口惺那】



リオデジャネイロ・パラリンピックの男子走り幅跳び（T42）で優勝したポポフ選手（中央）  
—2016年、毎日新聞提供

## 無敵の幅跳び王者

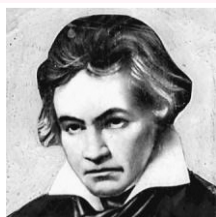


ぼくは陸上の走り幅跳びに興味があり、その中でも、ドイツのマルクス・レーム選手—写真—が好きです。ロンドンとリオのパ

ラリンピックの金メダリストです。好きな理由は、ウエイクボード練習中の事故で右の膝下を失っても、スポーツをすることをあきらめず、健常者に負けないくらいの大ジャンプをするからです。リオオリンピックの参加標準記録は8㍍15㍍ですが、レーム選手自身が持っているパラの世界記録は8㍍48㍍です。このように、レーム選手は、世界に敵がいなくらいの選手です。これからも頑張ってほしいです。

【中2 / 田口創冴】

## ドイツが誇る音楽家 ベートーヴェン



私は、ドイツ出身の音楽家、ベートーヴェン—肖像画—について調べました。1770年12月17日、ボンに生まれたベートーヴェンは、父に厳しいピアノの訓練を受け、努力もあって、わずか12歳でボンの宮廷礼拝堂のオルガン奏者にな

文京区は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ドイツのホストタウンとして登録しています。子ども記者はドイツについて身近なことや興味のあることを取材しました。

# ド

## 空手への熱意

最初に思いつくのは、僕の習っている松濤館流の空手に出稽古に大勢で来るドイツの人たちです。ドイツの人たちの空手への熱意、すごいなと思います。たまに子どももいて「もしかしたら将来、オリンピック選手になって一緒に戦うかもよ」と先生は言うけれど、「僕はなくても、この子ならあるかもな」とジロジロ見てしまいます。みんなマジメな感じで、一緒に練習すると、もっと話しくなります。でも言葉がわからない。僕のはあと、グーテンタークだけ。もっと知っていたらなと思います。ダンケシェーン。 【小5 / 今津利康】

# イ

ホストタウン情報

# ツ



子どもとたわむれるエロ|Rainoさん提供

去年の夏休みにベルリンにきました。いろいろな日本と違いますが、一番驚いたのは犬です。ドイツ原産の犬はダックスフント、シェパードやポメラニアンなどたくさんいます。電車やバスの中も犬は一緒にいますが、しっかりとしつけられ人に向かって吠えませんが、ドイツにはペットショップがありません。犬の店頭販売は違法ではありませんが、倫理的に許されないという市民がデモを起こし

## ペットと出会うドイツ人

たそうです。人々は動物たちと保護施設や、ブリーダーを探して出会います。犬を飼うための法律もあり、犬の学校にも通わないといけません。最近新しい犬種もでてきました。エロ(Euro)という種類で、ポプティル、ユーラシアとチャウチャウのミックスです。1987年に独立種として認定され、ファミリードッグとして人気です。私も大人になったら犬を飼いたいです。 【中2 / Raino】



## 初めてのサイン

私は、自転車競技のミーリアム・ヴェルテ選手から、サイン付きのポストカード—写真—をもらいました。ロンドンオリンピックのチームスプリントで優勝し、ほかの大会でも大きな成績を残しているヴェルテ選手を去年、取材しました。競技用自転車をこぐと重くてびっくりしました。カードには、選手がウェアを着て自転車と一緒に写っていて、選手のウェア姿がかっこいいです。私にとって初めてのサインだったので、もらった時はとてもうれしかったです。今は机の前の棚にかざっています。 【小6 / 石井たまき】